

宝同協定期総会

爽やかな季節が巡ってきました。コロナ制限が大きく緩和される中で、皆さんとお会いできる宝塚市人権・同和教育協議会 定期総会が近づいてきました。

私たち「宝同協」が、昨年度の報告と新役員の選出、ならびに今年度の計画をたてる年一度の大切な会合です。新しい事業計画や各部の活動などについて検討します。

そして、和太鼓集団「熱光（ひかり）」による和太鼓の演奏と、人権啓発映画『バースデー』の視聴で心を豊かにしましょう。

理事・代議員のみなさま、お忙しいと思いますが、理事・代議員である自覚のもと、ご出席をよろしく願います。宝同協役員一同、心からお越しをお待ちしています。

日時： 2023年5月18日(木)13時30分 開会

場所： 宝塚市立文化施設 ソリオホール



◎ オープニング 和太鼓集団「熱光」の和太鼓の演奏

「熱光」は 1997 年に郷土意識の高揚と地域の活性化を推進することを目的に結成されました。名前は、水平社宣言で謳われている『人の世に熱あれ人間に光あれ』から、熱と光をいただいて「熱（ひかり）」と命名。太鼓を通して差別に負けない強さ、仲間を大切にする気持ちを育てる事、異世代の人間が一緒になって活動する事で世代を超えた交流や次代を担う青少年育成を大きな柱として、聴いて頂いた方々と一緒に命の大切さや人権とは何かを訴え続ける演奏をされています。

- (1) 会長あいさつ・来賓あいさつ
- (2) 2022年度の活動と決算報告
- (3) 新役員の選出
- (4) 2023年度の活動計画と予算審議
- (5) 映画 “バースデー” (DVD・字幕副音声版 37分)

羽野美由紀は、20歳になる娘の笑花が「女らしい」振舞いをしないことに不満だった。笑花は誕生日の夜、自分がトランスジェンダー男性であることを両親に打ち明ける。性別違和ゆえに小さい頃からずっと辛かったこと、将来は手術も考えていること、そして、これからは名前を「尊」に変えて生きていくことを意を決して告げる笑花。突然のカミングアウトに動揺する美由紀たち。尊の気持ちを受け止めることができない美由紀は、翌日から尊を避けるようになる。

上司の玉木や同僚からの理解もあり、職場では自分らしく働ける尊。一方、誰にも相談できず悩んでいた美由紀は何かを抱えていることを同僚の祐奈に見透かされ、友達の娘がということにして相談し少し気持ちが軽くなる。

数日後、先輩が、尊のことをアウティングしてしまう。不安と恐怖から早退する尊。ただ事ではない様子で帰宅した尊を見た美由紀は、心配ゆえに、女性のままでいるように懇願し、かえって尊を傷つけてしまう。尊は家を飛び出していく。上司の玉木の協力もあって、尊は無事に見つかり、安心する美由紀。そして、玉木や祐奈の考え方に触れ美由紀は、次第に自分の心と向き合っていきます。

性的少数者について理解をするきっかけとし、その多様性を認め、互いの人権を尊重することはすべての人が自分らしく生きていける社会につながっていきます。

“委任状 書く手を止めて 誘い合い”

宝同協役員一同